

### 長崎原爆とは

僕は、核兵器の恐ろしさを学びたいと思い、8月7・8日に開かれた原水爆禁止長崎大会に初めて参加しました。

まず、長崎原爆とは、1945年8月9日に第二次世界大戦中に長崎市に投下された原子爆弾のことをいいます。この原爆により、長崎の市民、建物に被害をもたらし、一瞬にして数万人が死亡し、放射線や火災による影響で、その年には21万人が亡くなりました。

### 正義の戦争などない

初日は、開会総会がありました。

ウクライナ平和運動事務局長のユーリイ・シェリアゼンコさんの話が頭に残りました。

「ウクライナ戦争で、メディアは、ロシアのロケット弾によってアパートが廃墟と化したことを伝えますが、ウクライナのロケット弾が同じように残虐な事態を引き起こしていることは伝えません。正義の戦争などありません」

僕はこの話に強く共感しました。ウクライナへのロシアの侵路と核兵器による威嚇が繰

り返されていることは確かです。しかし、アメリカなどの西側諸国の武器提供、軍事支援により、他国との更なる緊迫感を高めている事も事実です。僕は、ロシア、ウクライナに関わらず、国益を守る前にその国に生きる国民の命と人権を守ってほしいと強く思いました。

その後は、政府に核兵器禁止条約の批准・署名を求めている学生や、平和行進の通し行進者などが登壇しました。小さな声も同じ意思を持った仲間が増えることで大きな声になるのだと確信し、希望が持てました。

### 原爆資料館の千羽鶴

そして、開会総会が終わり路面電車に乗り、原爆資料館に向かいました。

原爆資料館では、原爆の被害や復興の歴史、被爆者の証言や平和への思いが展示されていました。ぼろぼろになったお茶碗や、お弁当箱、学校の先生のガラスの刺さった服、原爆の被害で皮膚が垂れ下がった男性の写真を見て僕は2度と起きてはいけないものだと考えさせられました。そして、出口にはたくさんの数えきれないほどの千羽鶴があり、その千



開会総会

羽鶴に添えられたメッセージを見ました。

「地に空に平和を」

「みんなの願い 世界平和」

保育園の子どもや老人ホームの入居者など、幅広い世代の人が平和への願いを込めて鶴を折っているのだと知りました。強く印象に残りました。僕も学校の友達や地域の方と協力してたくさんの鶴を折りたいと思いました。

## 防衛費を増やしていったら

2日目は、分科会「大軍拡と平和・くらし」に参加しました。

防衛費を今までの2倍にしようとしている日本政府はどうかしていると思います。なぜなら防衛費を増やしていったらお互いが競い合い軍事衝突になりかねないからです。そして日本の食料自給率は38%しかありません。これは日本の農業を切り捨て、海外の安い野菜や農作物を輸入しているのが原因だと思います。食料自給率は低いのに防衛費を増やして戦争に発展したら、日本は食料確保が安定せず餓死する人が増えると分科会で知りました。

## 沖縄の声を無視するのはおかしい

分科会では、米軍基地による日本の被害についても話していました。米軍が少女に性暴力を振るったことや、強盗、万引き、そして訓練の時に起きる騒音や落下物の事についても触れていました。

日々座り込みなどのデモ行為などをして米軍の訓練に反対している人たちには、僕は感謝しかないと考えています。政府には日米同盟の廃止や米軍基地撤退に取り組んでほしいと思いました。日本が戦争に参加したら、いちばん被害を受けるのは、米軍基地がある沖縄でしょう。日本で唯一の地上戦が起きた沖縄の方の声を無視し、国民の同意も得ず防衛費を増やすのはおかしいです。

## 平和でいることの大切さを学んだ

今回は台風の影響で大会日程が1日早まったのは残念でしたが、みんな無事に帰れたのでよかったかなと思います。

僕は今回の長崎の学習でたくさんのことを学ぶことができました。

いつも口だけで「軍拡反対」と声高く言っていたのですが、核兵器による恐ろしさや影響、平和でいることの大切さを学びました。

地球上から核兵器を無くすためにも、いまこそ核兵器禁止条約に日本も批准・署名してほしいと思いました。

そして、核保有や核共有は許さない環境づくりをする必要があります。「大国が核兵器を保有しているから平和が保たれている」とする核抑止力論は破綻しており、核廃絶無くして被爆者の救済はあり得ません。反戦、反核を身近な人と共有する必要があると思いました。

来年は高校3年生で受験勉強など忙しくなりますが、また機会があれば参加して、次はもっと深いところまで学習したいなと思いました。



原子爆弾落下中心地碑